

まいど

第14号



京都商工会議所青年部 会報

Young Entrepreneurs Group of the Kyoto Chamber of Commerce and Industry



プロフィール

栢木 寛照 1946年3月13日生れ 滋賀県水口町出身
比叡山無動寺にて出家。その後、金乗院住職となり、天台宗議会議員を経て現在にいたる。現在、比叡山麓三宝院住職を務め、TV、ラジオに出演、講演へと全国を飛び廻っている。



人づくりとは、国作りであります。私どもが考えますところは、1年の計は米を作ることであり、10年の計は米を植えることに始まり、そして国家百年の大計は人造りであります。如何に人造りが重要であるかと云うことです。

比叡山の開祖伝教大師最澄上人は、立派な行いがあっても、その裏に崇高な教理教学をもたなければ、その行いは半減する。また立派な教理教学を修めたとしても、その裏に力強い実行が伴わなければならないと申しておられます。則ち学問と実行のともなった人材を育てる。これが最澄さまの御精神であります。

そのご精神である人材育成を実践しようと活動を始めましたが、その活動の中でも特に青少年育成を中心に実行してまいりました。今年で16年になります。過去15年間に亘り新聞紙上等で公募した青少年(小、中、高生)を、玉砕の地サイパン島へ派遣し、戦没者の慰霊と、現地の子供達との文化交流を続けております。今私達の豊かな生活が如何に成り立っているかを知らしめ、国際的な感覚を少しでも体験し身につけていくことや、親の恩に報いることは無条件であることなどを勉強し、すべてのものに感謝をもち、喜びをもつことのできる育成を計っています。

今、宗教(佛教)とは、ややもやすと葬式宗教(佛教)と云われたり、また目に見えない靈魂を売りものにしてしている様なところがあるとも思われがちですが、宗教とは、また、宗教者とは、常に為と云う部分をもち続けなければならない訳です。為とは、人さまのため、世の中のためであって、外に向かって行なう行為でなければなりません。今日では、自分の為、己の為などと云った、内に取り込む為が優先されている様に思います。宗教とは、宗教者とは、常に社会性を忘れてはならない訳で、社会性を忘れたならば、もうそれは宗教でも宗教者でもないと思います。

CONTENTS

“人づくり・京づくり”	1	平安建都1200年イベント・スケジュール	5
京都商工会議所青年部 会長	2	次年度会長プロフィール	6
京都商工会議所 会頭	2	ネットワークひろば	6
臨時会員総会	3	青年部事業予定	6
委員会だより	3	新入会員の紹介	6
全国大会一津大会一報告記	4	編集後記	6